

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2024年 2月 29日

事業所名 児童発達支援さくらんぼルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準は満たしているが、年齢が大きな利用児の部屋は全員来ると狭く感じることもあり、放課後等デイサービスの部屋を活用し工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	○			配置基準は適切だが、年齢や新規利用児が重なった時など担任だけでは対応が難しい場合がある為、職員の応援が必要
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			整理整頓は心掛けているが、積年の汚れや壁紙の剥がれがあり、修繕が必要になっている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			保育士向けの研修など、センターが参加できない研修もある為、もっと参加できる機会が欲しい
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者のニーズを聞き取り、会議で子どもの状況を共有して計画を立てている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人独自のツールを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援内容を意識するようにしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		週案を担任間で話して決めて、行事については全職員で共有している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動は子どもたちが楽しめる工夫を心掛けている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	○			
	17	○		事業所でのミーティングを実施。担任同士は、送迎の兼ね合いもあり、前日に実施する場合もある	
	18	○		送迎の兼ね合いで、書面であったり、次の日になることもある	
	19	○			
	20	○			
関係機関や保護者との連携	21	○			
	22	○		必要に応じて、区役所等関係機関との連携をとっている	
	23		○		対象児がない
	24		○		対象児がない
	25	○		保育所などに利用児の様子を聞き、連携を図っている	
	26	○		書面と電話連絡で情報共有をする場合や、直接お話しをする場合もある	
	27	○		同法人の児童発達支援担当職員と会議をし、相談などしている 外部では、自立支援協議会での助言を受けている	
	28	○		法人内一時保育との交流やまだ実現していないが、法人内認定こども園との交流予定がある	
	29	○		今年度から運営だけでなく、担当職員も参加しており、もっとその機会があればいいと思う	
	30	○		日々の様子は、送迎時や連絡ノートでやり取りし、時期を見て家庭訪問も実施している	
	31	○		茶話会や保護者会等で支援を行っている	
	32	○		契約懇談の際、説明している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者の方のご期待に添えるよう今後も対応していきます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会や保護者会などで、お互いの話を聞いたりやりとりができるよう繋いでいる	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		電話やノートなどですぐ対応できるようにしており難しい内容などは上位者に相談し、対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・具体的に話す、ゆっくり話す、シエスチャーを入れるなど意識はしている ・子どもには視覚支援等配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ以降実施できていない地域の行事も実施されておらず、交流が難しい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員内は周知しており、様々な想定での避難訓練は実施している 保護者の方には必要な書面を配布している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		対象児がない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		法人内会議での話し合い後、会議などで共有している内容の報告や、記録の確認を実施している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を実施し、報告をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在対象児がないが、身体拘束についての要件や書面の確認は実施している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。